

評価対象年度	平成27年度	<b>事務事業評価シート</b>			作成日	平成28年	5月	28日				
事務事業名	家庭教育学級開設事業			事業類型	活動支援							
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課	社会教育グループ	記入者氏名	赤津 雄史								
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						□ 実施計画対象事業				
	施策名	4 未来を担う青少年の健全育成を図る										
	基本事業名	1 地域で育てる体制の充実										
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	01	事業名	家庭教育学級開設事業	根拠法令		
事業期間	□ 単年度のみ			■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)				□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)				
<b>事業概要</b>												
【全体概要】 家庭は、子どもの人格形成に関わるもっとも基本的な教育機能をもつ。そのため、保護者は、子どもの教育に対する責任を自覚し、家庭教育に関する正しい知識と理解を持つことが必要である。保護者自らが家庭のあり方、親としてのあり方について学習し、家庭の教育力の向上を図る。市立						【業務内容】 ・学級開設の指導・合同学習会の企画、開催・運営補助金の交付に伴う事務						
1 現状把握の部(DOシート)												
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移												
						単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
・市立保育所、幼稚園、小学校、中学校在学中の保護者						人	4975.	4751.	4648.	4600.	4600.	
							0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
・担当者及び学級長説明会 ・学校、幼稚園ごとに学級を設置 ・合同学習会の開催						説明会の開催回数	回	1.	1.	1.	1.	1.
						開設した学級数	学級	23.	21.	20.	20.	20.
						合同学習会の開催回数	回	3.	3.	3.	3.	3.
								0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
家庭での子どもへの教育及び親の在り方について学習することにより、親としての自覚をもち、家庭教育に関する正しい知識を習得してもらい、家庭の教育力の向上につなげる。						学級講座に参加した者の延べ人数	人	6023.	5275.	5200.	5200.	5200.
						講座の開催回数	回	164.	151.	145.	145.	145.
								0.	0.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
(2) 投入量の推移												
		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費				
事業費	財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	内訳	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	1,846	1,691	1,853	1,853	1,853	0			
事業費計(A)		千円	1,846	1,691	1,853	1,853	1,853	0				
人件費	正規職員	千円	1,867	0.29人	1,970	0.35人	1,970	0.35人	1,970	0.35人		
	正規外職員	千円	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人		
	人件費計(B)	千円	1,867	1,970	1,970	1,970	1,970					
投入量(A)+(B)		千円	3,713	3,661	3,823	3,823	3,823					
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ		核家族化が広まり、親の子育てに対する不安をなくす必要が出てきた。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		教育基本法改正により「家庭教育」が新設され、親が家庭教育学級で学んだ知識や考え方を家庭でも行うことで、子供の親に対する見方、考え方、親と子供の接し方など、家庭教育の在り方について改善される方向にある。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		学級生(特に企画担当者)から、事業計画を立てて実施することは大変だが、実施して振り返ると大変有意義であり、よい経験になったとの声を聞く。										

<b>(4) 前回(平成26年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み</b>																		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) 学園ごとで合同での学習会を推進してきたが、本年度は実施までには至らなかった。しかし、来年度は意欲的に取り組もうとしている。 (予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> ) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> ) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円														
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	

<b>2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>	
<b>目的・妥当性評価</b> ① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 少子化・核家族化により、子育てについての相談者や機会が少なくなっている。そのため市が、保護者に家庭教育の重要性について学ぶ機会を与えることが必要である。
<b>有効性評価</b> ② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市立の保育所・幼稚園・小学校・中学校すべてに学級を開設。学習会を合同も合わせて5～9回実施している。今後開催方法や学習会の内容の充実、さらに参加者の増について努力していく。
<b>③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性</b> ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はない。家庭教育の重要性を考えれば、市が継続して実施すべきである。
<b>効率性評価</b> ④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費は、講師謝礼や保険代、必要な資料消耗品であり削減は難しい。人件費については、補助事務や開級式・合同学習会準備等多々あるが、必要最小限となるよう努力している。
<b>公平性評価</b> ⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 市費は、講師謝礼等の全体に係る経費を支出しており、学級生にかかる部分は個人負担としている。

<b>3 計画の部(PPLAN)</b>																						
(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) 改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 小中一貫教育の開始に伴い、学園ごとでの学習会の実施や、市内全体での合同学習会の内容を新たに検討し、学習内容の充実を図る。	※担当課長、グループ長、担当者が記載 <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																					
改革・改善による期待成果																						
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維持</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低下</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 ) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 家庭教育力の向上を図るため学習内容を充実する。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						

評価対象年度	平成27年度	<b>事務事業評価シート</b>				作成日	平成28年	5月	28日		
事務事業名	成人式開催事業				事業類型	式典の開催					
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課		社会教育G		記入者氏名	赤津 雄史					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり				■ 実施計画対象事業				
	施策名		4 未来を担う青少年の健全育成を図る								
	基本事業名		2 健全育成の推進								
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令					
		09	05	01	成人式開催事業						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)				
<b>事業概要</b>											
<b>【全体概要】</b> 当該年の成人者及び市関係者が一堂に会し、成人式典を開催し、成人者の門出を祝う。					<b>【業務内容】</b> 当該年及び次年の成人者代表により実行委員会を組織して計画の検討や成人式の運営を行う。市は、実行委員会をサポートしながら、式典において門出を祝う。						
<b>【会場】</b> ・平成23年度 中央公民館											
1 現状把握の部(DOシート)											
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)									
その年度に二十歳になる新成人		成人者数				人	582.	575.	476.	521.	501.
							0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
・実行委員の募集 ・実行委員会の開催 ・式典の開催		実行委員募集通知の発送 件数(次年度成人者も募集)				通	1050.	1003.	1000.	1000.	1000.
		実行委員会の開催数				回	7.	8.	8.	8.	8.
							0.	0.	0.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)									
新成人に社会人として自覚を持ってもらい、市民としてまちづくりに参加する意識を高める。		成人式に参加した割合				%	76.1	71.1	80.	80.	80.
							0.	0.	0.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
(2) 投入量の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費			
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	2,260	2,204	2,269	2,269	2,269	2,269			
	事業費計(A)	千円	2,260	2,204	2,269	2,269	2,269	2,269			
人件費	正規職員	千円	2,462	0.55人	1,920	0.45人	1,920	0.45人	1,920	0.45人	
	正規外職員	千円	180	0.10人	180	0.10人	180	0.00人	180	0.00人	
	人件費計(B)	千円	2,642		2,100		2,100		2,100		
	投入量(A)+(B)	千円	4,902		4,304		4,369		4,369		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ		国民的な行事であり、成人の健やかな心身の成長と、社会人としての門出を祝福するため。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		那珂市においても少子高齢化が進行している。さらに、進学・就職等により市外へ移住する成人者が多くなっている。将来に向けてまちの活力を維持するためにも、若い世代の定住を促す取り組みが必要となっている。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		一部の市民から、昨今の市の財政状況を憂慮して、貴重な財源を使うことについて、反対の意見が寄せられている。一方で、行政による成人式の開催は当然のことと思われる。									



評価対象年度	平成27年度	<b>事務事業評価シート</b>			作成日	平成28年	5月	28日
事務事業名	各種団体補助事業				事業類型	活動支援	点検日	年
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課	社会教育G	記入者氏名	赤津 雄史				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						■ 実施計画 対象事業
	施策名	4 未来を担う青少年の健全育成を図る						
	基本事業名	1 地域で育てる体制の充実						
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令		
		09	05	01	各種団体補助事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)		
<b>事業概要</b>								
【全体概要】 社会教育の振興を図るため、各団体の自発的な活動を推進し、活動費を助成する。				【業務内容】 補助金の適正な活用が図れるよう管理し、スムーズな補助事務を行う。				

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
市民	市の人口	人	55887	55647	55576	55300	55000	
	補助団体数		3	3	3	3	3	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
補助金交付申請の受理、補助金の交付	申請書受理件数	件	3	3	3	3	3	
	補助金交付額(市文化協会)	千円	4165	3865	3865	3865	3865	
	補助金交付額(市PTA連絡協議会)	千円	645	610	610	610	610	
	補助金交付額(市幼稚園PTA連絡協議会)	千円	40	40	40	40	40	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
文化協会及び会員の資質の向上による芸術文化の振興と市民の生涯学習の推進 PTA活動の活性化	文化協会加入数	人	943	873	853	900	900	
	文化振興事業・講座・文化祭への参加者数	人	4458	4194	4300	4300	4300	
	市PTA連絡協議会事業数	事業	4	4	4	4	4	
	市幼稚園PTA連絡協議会事業数	事業	2	2	2	2	2	
(2) 投入量の推移	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費	
事業内 費 財 源 地 方 債 券 一 般 財 源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	4,850	4,515	4,515	4,515	4,515	0
人 件 費	正規職員	千円	5,037	3,670	3,670	3,670	3,670	1.01人 0.85人
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0.00人 0.00人
	人件費計(B)	千円	5,037	3,670	3,670	3,670	3,670	
投入量(A)+(B)		千円	9,887	8,185	8,185	8,185	8,185	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	各団体が発足したことによる。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	市文化協会全体で高齢化が進んでいる。市PTA連絡協議会や市幼稚園PTA連絡協議会では少子化により会員が年々減少している。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	なし							



評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート			作成日	平成28年	5月	24日			
事務事業名	青少年相談員設置事業			事業類型	団体運営						
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課	社会教育グループ	記入者氏名	赤津 雄史							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						□ 実施計画対象事業			
	施策名	4 未来を担う青少年の健全育成を図る									
	基本事業名	1 地域で育てる体制の充実									
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	那珂市青少年相談員設置規則				
		09	05	03	青少年相談員設置事業						
事業期間	□ 単年度のみ			■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)			□ 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)				
事業概要											
【全体概要】 1 青少年の実態を把握し、青少年の問題等に関わる相談に応じ、その解決に努める。 2 青少年相談員としての自己研鑽に努める。 3 青少年にとって健全な環境づくりのため、環境浄化の推進に努める。				【業務内容】 年間計画に基づいた活動を実施する。また、県主催等の研修会へも積極的に参加し青少年相談員としての資質の向上に努める。							
1 現状把握の部(DOシート)											
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)									
那珂市青少年相談員		那珂市青少年相談員数				人	47.	47.	47.	47.	47.
							0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
青少年健全育成に向けた街頭活動や情報交換、並びに、研修会への参加を通して、青少年の健全育成の推進と自己研鑽に努める。		那珂市青少年相談員定数				人	47.	47.	47.	47.	47.
		健全育成活動実施回数				回	15.	15.	15.	15.	15.
							0.	0.	0.	0.	
							0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)									
青少年相談員活動及び研修を通して、相談員の資質向上と青少年を育成するための環境の向上を図る。		積極的に青少年育成活動に参加している相談員人数				人	1522.	1503.	1500.	1500.	1500.
		不良行為少年補導件数				件	159.	244.	200.	200.	200.
		青少年団体会員数				人	1642.	1595.	1426.	1400.	1400.
		青少年団体加入率(子ども会)				%	57.	56.	52.	52.	52.
(2) 投入量の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費			
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	17	21	21	21	0			
	一般財源	千円	4,538	4,550	4,966	4,966	4,966	0			
事業費計(A)		千円	4,538	4,567	4,987	4,987	4,987	0			
人件費	正規職員	千円	2,455	2,020	2,020	2,020	2,020	0.35人			
	正規外職員	千円	780	780	780	780	780	0.50人			
	人件費計(B)	千円	3,235	2,800	2,800	2,800	2,800	0.85人			
投入量(A)+(B)		千円	7,773	7,367	7,787	7,787	7,787	0.85人			
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ		青少年の健全育成は地域ぐるみで進めようという趣旨のもとに、昭和40年8月に11人の青少年相談員が委嘱され、青少年のよき相談相手として、青少年の健全育成活動が始まった。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		少子高齢化・都市化により地域コミュニケーションが希薄化している。地域で子どもを守る活動が活発化するなど子どもの安全に関心が深まる一方で、携帯等による有害情報の蔓延や人との交流を避ける傾向がある。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		青少年相談委員からは、青少年を温かく見守り育てるためには、各地区まちづくり委員会を始めとする地域の方々との協力体制づくりの強化が必要であるという意見が寄せられている。									



評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート			作成日	平成28年	5月	28日
					点検日	年	月	日
事務事業名	青少年育成事業			事業類型	活動支援			
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課	社会教育G		記入者氏名	赤津 雄史			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						□ 実施計画 対象事業
	施策名	4 未来を担う青少年の健全育成を図る						
	基本事業名	2 健全育成の推進						
予算科目	一般会計	款 09	項 05	目 03	事業名 青少年育成事業	根拠法令	社会教育法	
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)			□ 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 子ども会育成連合会等の育成支援。青少年育成関係団体事業の推進 主催事業(青少年の主張大会等)への助成と支援				【業務内容】 年間計画に基づいた活動を実施する。また、県主催等の研修会へも積極的に参加し青少年健全育成活動の充実を図るとともに、団体の事務局として青少年の育成と啓発に努める。				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)				
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)										
市内在住の青少年	市内の青少年数(0～19歳)	人	9701.	9604.	9516.	9450.	9400.				
			0.	0.	0.	0.	0.				
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)										
子ども会事業における表彰、講習会、研修会等の実施。大会や表彰式展の開催による青少年育成事業の推進。高校生会員の募集。	開催事業件数(大会や式典等)	件	8.	7.	7.	7.	7.				
			0.	0.	0.	0.	0.				
			0.	0.	0.	0.	0.				
			0.	0.	0.	0.	0.				
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)										
青少年の健全育成にかかる団体が連携し、次代を担う青少年の健全育成を図る。	単位子ども会数(子ども会)	団体	75.	72.	65.	65.	65.				
	不良行為少年補導件数	件	159.	244.	200.	200.	200.				
	青少年団体会員数	人	1642.	1595.	1426.	1400.	1400.				
	青少年団体加入率(子ども会)	%	57.	56.	52.	52.	52.				
(2)投入量の推移	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費				
事業内 費 財 源 費 財 源 費 計	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0	0				
	一般財源	千円	926	588	748	748	748	0			
事業費計(A)	千円	926	588	748	748	748	0				
人 件 費	正規職員	千円	5,287	3,125	3,125	3,125	3,125	0.94人	0.65人	0.65人	0.65人
	正規外職員	千円	390	390	390	390	390	0.25人	0.25人	0.25人	0.25人
	人件費計(B)	千円	5,677	3,515	3,515	3,515	3,515				
投入量(A)+(B)	千円	6,603	4,103	4,263	4,263	4,263					
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ	少子化・核家族化などにより子どもを取り巻く環境が悪化し、子どもたちの自主性を育てる活動支援や子ども会の脆弱化に伴い、子ども会会員相互の親睦や情報交換並びに地域リーダーの養成を図ることが急務となった。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	・子どもたちや保護者の多様化により子ども会活動に対する考え方が変わってきている。・市民会議事業については、事業内容が充実し、事業の趣旨に賛同する方たちが増え、高い評価を受けている。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	保護者からは、少子化や親の多様化により子ども会離れはあるが、子ども会事業に参加し、よい経験をした等意見も寄せられている。役員の負担は増えるが、多くの人たちが子ども会活動に参加してほしいとの要望がある。										

(4) 前回(平成26年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み																																	
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(予算への反映)																															
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 削減(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; height: 20px; border: 1px dashed black;"></td><td style="width: 40px; height: 20px; border: 1px dashed black; text-align: center;">0</td><td style="width: 40px; height: 20px; border: 1px dashed black;"></td><td style="width: 40px; height: 20px; border: 1px dashed black;"></td></tr><tr><td></td><td style="text-align: center;">0</td><td></td><td></td></tr></table> 千円 (人件費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; height: 20px; border: 1px dashed black;"></td><td style="width: 40px; height: 20px; border: 1px dashed black; text-align: center;">0</td><td style="width: 40px; height: 20px; border: 1px dashed black;"></td><td style="width: 40px; height: 20px; border: 1px dashed black;"></td></tr><tr><td></td><td style="text-align: center;">0</td><td></td><td></td></tr></table> 千円 <input type="checkbox"/> 増加(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; height: 20px; border: 1px dashed black;"></td><td style="width: 40px; height: 20px; border: 1px dashed black; text-align: center;">0</td><td style="width: 40px; height: 20px; border: 1px dashed black;"></td><td style="width: 40px; height: 20px; border: 1px dashed black;"></td></tr><tr><td></td><td style="text-align: center;">0</td><td></td><td></td></tr></table> 千円 (人件費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; height: 20px; border: 1px dashed black;"></td><td style="width: 40px; height: 20px; border: 1px dashed black; text-align: center;">0</td><td style="width: 40px; height: 20px; border: 1px dashed black;"></td><td style="width: 40px; height: 20px; border: 1px dashed black;"></td></tr><tr><td></td><td style="text-align: center;">0</td><td></td><td></td></tr></table> 千円 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし		0				0				0				0				0				0				0				0	
	0																																
	0																																
	0																																
	0																																
	0																																
	0																																
	0																																
	0																																

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 次代を担う子どもたちの健全育成に、市が関わり推進することは妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 青少年団体への加入が少なくなっており、加入を働きかけているが、厳しい財政や労働状況、保護者の子ども会への役員に対する負担感などの社会環境が背景となるため対応が難しい。
公平性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 他に代わる事業がなく、青少年の健全育成の意義を考慮すれば廃止することは難しい。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 子ども会育成会や青少年育成那珂市民会議の会員の労力で事業を行っており、市としては最低限の経費と事務量で実施している。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 子ども会事業については、参加者から参加費を徴収し、市民会議事業については、ほとんどが啓発事業なので受益者負担を求めるものではない。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; height: 20px; border: 1px dashed black;"></td><td style="width: 40px; height: 20px; border: 1px dashed black; text-align: center;">○</td><td style="width: 40px; height: 20px; border: 1px dashed black;"></td><td style="width: 40px; height: 20px; border: 1px dashed black;"></td></tr><tr><td></td><td style="text-align: center;">○</td><td></td><td></td></tr></table> <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)		○				○			改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
	○																													
	○																													
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上		○																											
	維持			×																										
	低下			×																										
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 ) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 青少年関係団体・機関との連携を強化するとともに、事業内容も検討していく。																														
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																														
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																														

評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート			作成日	平成28年	5月	31日			
事務事業名	ふるさと教室開設事業				事業類型	各種教室の開催					
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課	社会教育G	記入者氏名	赤津 雄史							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						■ 実施計画対象事業			
	施策名	4 未来を担う青少年の健全育成を図る									
	基本事業名	2 健全育成の推進									
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	03	事業名	ふるさと教室開設事業	根拠法令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要											
【全体概要】 市内小学4・5・6年生を対象に、学校や学年の違う子どもたちが家庭では味わえない体験を通して、交流や仲間作りを行い社会性を養う。						【業務内容】 様々な体験メニューによる教室を編成し運営する。					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
小学校4～6年生	小学校4～6年生	人	1498.	1438.	1427.	1410.	1400.
			0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
教室の開設	開催した教室の延べ回数	回	16.	15.	14.	16.	16.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
多くの体験を通して、郷土の歴史や自然について学ぶことにより、ふるさとを愛する心を育てる。また、学校や学年の違う友達との交流を通して社会性を養い、もって活力ある青少年を育てる。	教室に参加した延べ人数	人	523.	411.	510.	570.	570.
	教室に参加した実人数	人	114.	100.	120.	120.	120.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	102	83	83
	一般財源	千円	654	666	1,190	1,209	1,209
	事業費計(A)	千円	654	666	1,292	1,292	1,292
人件費	正規職員	千円	7,776	5,035	5,035	5,035	5,035
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0
	人件費計(B)	千円	7,776	5,035	5,035	5,035	5,035
投入量(A)+(B)	千円	8,430	5,701	6,327	6,327	6,327	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	子どもたちが日ごろできない体験学習の場を提供することにより、社会性に富んだ活力ある健全な青少年の育成が必要となったため。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	人間関係の希薄化、家庭や地域社会の教育力の低下、さらには、青少年の健全育成を阻害する有害な情報の氾濫など、その社会環境は大きく変化している一方、子どもが集団をつくって遊ぶ機会や場所が減ってきた。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	毎年申し込む子どもも多く、カリキュラム内容について、新規要望が寄せられている。						



評価対象年度	平成27年度	<b>事務事業評価シート</b>			作成日	平成28年	6月	3日			
事務事業名	各種団体補助事業				事業類型	活動支援	点検日	年	月	日	
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課	社会教育G	記入者氏名	赤津 雄史							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						■ 実施計画 対象事業			
	施策名	4 未来を担う青少年の健全育成を図る									
	基本事業名	2 健全育成の推進									
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	03	事業名	各種団体補助事業	根拠法令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)			
<b>事業概要</b>											
【全体概要】 那珂市補助金等交付規則に基づき、青少年那珂市民会議 および那珂市子ども会育成連合会に補助金を交付する。						【業務内容】 補助金の適正な活用が図れるよう管理し、スムーズな補助事務を行 う。					

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移																																																																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>単位</th> <th>26年度 (実績)</th> <th>27年度 (実績)</th> <th>28年度 (見込)</th> <th>29年度 (計画)</th> <th>30年度 (計画)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等</td> <td colspan="9">④対象指標(対象の大きさを表す指標)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「青少年育成那珂市民会議」「那珂市子ども会育成連合会」</td> <td>補助団体数</td> <td>団体</td> <td>2.</td> <td>2.</td> <td>2.</td> <td>2.</td> <td>2.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> </tr> <tr> <td colspan="2">②手段(具体的な事務事業のやり方)</td> <td colspan="9">⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業補助金の補助申請の受付、補助金の交付</td> <td>補助金交付額(青少年育成那珂市民会議)</td> <td>千円</td> <td>820.</td> <td>820.</td> <td>820.</td> <td>820.</td> <td>820.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>補助金交付額(市子ども会育成連合会)</td> <td>千円</td> <td>250.</td> <td>250.</td> <td>250.</td> <td>250.</td> <td>250.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> </tr> <tr> <td colspan="2">③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)</td> <td colspan="9">⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">各青少年育成団体の活動を支援し、事業を通じて地域の青少年育成の推進とともに会員相互の連携の輪を広げる。</td> <td>開催事業数</td> <td>回</td> <td>8.</td> <td>7.</td> <td>7.</td> <td>7.</td> <td>7.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>青少年団体会員数</td> <td>人</td> <td>1642.</td> <td>1595.</td> <td>1426.</td> <td>1400.</td> <td>1400.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>青少年団体加入率(子ども会)</td> <td>%</td> <td>57.</td> <td>56.</td> <td>52.</td> <td>52.</td> <td>52.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> </tr> </tbody> </table>													単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)									「青少年育成那珂市民会議」「那珂市子ども会育成連合会」		補助団体数	団体	2.	2.	2.	2.	2.	0.	0.	②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									事業補助金の補助申請の受付、補助金の交付		補助金交付額(青少年育成那珂市民会議)	千円	820.	820.	820.	820.	820.	0.	0.			補助金交付額(市子ども会育成連合会)	千円	250.	250.	250.	250.	250.	0.	0.	③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)									各青少年育成団体の活動を支援し、事業を通じて地域の青少年育成の推進とともに会員相互の連携の輪を広げる。		開催事業数	回	8.	7.	7.	7.	7.	0.	0.			青少年団体会員数	人	1642.	1595.	1426.	1400.	1400.	0.	0.			青少年団体加入率(子ども会)	%	57.	56.	52.	52.	52.	0.	0.
		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)																																																																																																														
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)																																																																																																																			
「青少年育成那珂市民会議」「那珂市子ども会育成連合会」		補助団体数	団体	2.	2.	2.	2.	2.	0.	0.																																																																																																											
②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																																																																																																			
事業補助金の補助申請の受付、補助金の交付		補助金交付額(青少年育成那珂市民会議)	千円	820.	820.	820.	820.	820.	0.	0.																																																																																																											
		補助金交付額(市子ども会育成連合会)	千円	250.	250.	250.	250.	250.	0.	0.																																																																																																											
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)																																																																																																																			
各青少年育成団体の活動を支援し、事業を通じて地域の青少年育成の推進とともに会員相互の連携の輪を広げる。		開催事業数	回	8.	7.	7.	7.	7.	0.	0.																																																																																																											
		青少年団体会員数	人	1642.	1595.	1426.	1400.	1400.	0.	0.																																																																																																											
		青少年団体加入率(子ども会)	%	57.	56.	52.	52.	52.	0.	0.																																																																																																											
(2) 投入量の推移																																																																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>単位</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(見込)</th> <th>29年度(計画)</th> <th>30年度(計画)</th> <th>総事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>1,070</td> <td>1,070</td> <td>1,070</td> <td>1,070</td> <td>1,070</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>1,070</td> <td>1,070</td> <td>1,070</td> <td>1,070</td> <td>1,070</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員</td> <td>千円</td> <td>4,656</td> <td>2,955</td> <td>2,955</td> <td>2,955</td> <td>2,955</td> <td>0.90人</td> </tr> <tr> <td>正規外職員</td> <td>千円</td> <td>390</td> <td>390</td> <td>390</td> <td>390</td> <td>390</td> <td>0.25人</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>5,046</td> <td>3,345</td> <td>3,345</td> <td>3,345</td> <td>3,345</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">投入量(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>6,116</td> <td>4,415</td> <td>4,415</td> <td>4,415</td> <td>4,415</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>													単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	その他	千円	0	0	0	0	0	0	一般財源	千円	1,070	1,070	1,070	1,070	1,070	0	事業費計(A)		千円	1,070	1,070	1,070	1,070	1,070	0	人件費	正規職員	千円	4,656	2,955	2,955	2,955	2,955	0.90人	正規外職員	千円	390	390	390	390	390	0.25人	人件費計(B)	千円	5,046	3,345	3,345	3,345	3,345		投入量(A)+(B)		千円	6,116	4,415	4,415	4,415	4,415															
		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費																																																																																																													
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																													
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																													
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																													
	その他	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																													
	一般財源	千円	1,070	1,070	1,070	1,070	1,070	0																																																																																																													
事業費計(A)		千円	1,070	1,070	1,070	1,070	1,070	0																																																																																																													
人件費	正規職員	千円	4,656	2,955	2,955	2,955	2,955	0.90人																																																																																																													
	正規外職員	千円	390	390	390	390	390	0.25人																																																																																																													
	人件費計(B)	千円	5,046	3,345	3,345	3,345	3,345																																																																																																														
投入量(A)+(B)		千円	6,116	4,415	4,415	4,415	4,415																																																																																																														
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等																																																																																																																					
①事業を始めたきっかけ																																																																																																																					
青少年育成団体が行う事業活動に対して自主性を尊重しつつ助成を行い、本市の青少年育成活動の一層の発展を図るため。																																																																																																																					
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)																																																																																																																					
活動内容が定着化してきている。																																																																																																																					
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)																																																																																																																					
保護者からは、少子化や親の多様化により子ども会離れはあるが、子ども会事業に参加し、よい経験をした等意見も寄せられている。役員の負担は増えるが、多くの人たちが子ども会活動に参加してほしいとの要望がある。																																																																																																																					



評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート				作成日	平成28年	6月	7日			
事務事業名	スポーツ推進委員設置事業				事業類型	活動支援						
担当部課G等	教育委員会	スポーツ推進室	スポーツ推進室体育G	記入者氏名	小池 裕樹							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり				□ 実施計画対象事業					
	施策名		3 生涯にわたりスポーツに親しめる環境を整える									
	基本事業名		2 生涯スポーツ活動の支援									
予算科目	一般会計	款	09	項	06	目	01	事業名	スポーツ推進委員設置事業	根拠法令	スポーツ基本法	
事業期間	□ 単年度のみ				■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)				□ 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)			
<b>事業概要</b>												
<b>【全体概要】</b> 住民のスポーツ振興のため、実技の指導、組織の育成、行政機関及び団体の行う行事・事業に対し求めに応じて指導・助言を行う。						<b>【業務内容】</b> 各種スポーツ実技研修・ニュースポーツ教室の企画運営等						
1 現状把握の部(DOシート)												
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移												
						単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民						人口	人	55887.	55647.	55576.	55300.	55000.
								0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
研修会(市・水戸地区・県)・研究大会(関東・全国)への参加、軽スポーツ体験教室等の企画運営・体育行事運営協力、総合型地域スポーツクラブの運営支援。						研修会等開催回数	回	4.	5.	6.	5.	5.
						委員会開催回数	回	5.	6.	6.	6.	6.
						運営協力した体育行事数	回	3.	3.	3.	3.	3.
								0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
推進員の指導技術・知識を育成し、スポーツ指導・普及にあたらせる。						市及び体協主催事業に参加した人数	人	1500.	1420.	1500.	1500.	1500.
								0.	0.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
(2) 投入量の推移												
		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費				
事業内費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0	0	0				
	事業費計(A)	千円	1,561	1,577	2,067	1,907	1,883	0				
人件費	正規職員	千円	1,924	2,055	2,055	2,055	2,055	0.34人	0.34人	0.34人	0.34人	
	正規外職員	千円	258	343	343	343	343	0.20人	0.20人	0.20人	0.20人	
	人件費計(B)	千円	2,182	2,398	2,398	2,398	2,398	2,398				
投入量(A)+(B)		千円	3,743	3,975	4,465	4,305	4,281					
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ			国のスポーツ振興法(昭和36年)、現在のスポーツ基本法(平成23年)に基づき、市民の健康増進を図ることを目的としてスポーツの普及発展を行うため。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			スポーツの多種多様化が進み、指導者が不足してきている。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			スポーツ推進委員がどのような活動をし、スポーツの発展や振興に寄与しているのかわからないという市民から声がある。一方、総合型地域スポーツクラブの運営については、中核としての活動が要望されている。									



評価対象年度	平成27年度	<b>事務事業評価シート</b>			作成日	平成28年	6月	2日			
事務事業名	スポーツ教室開設事業				事業類型	各種教室の開催					
担当部課G等	教育委員会 スポーツ推進室	スポーツ推進室体育G	記入者氏名	鈴木 教彦							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						■ 実施計画対象事業			
	施策名	3 生涯にわたりスポーツに親しめる環境を整える									
	基本事業名	2 生涯スポーツ活動の支援									
予算科目	一般会計	款	09	項	06	目	01	事業名	スポーツ教室開設事業	根拠法令	スポーツ基本法
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)			
<b>事業概要</b>											
【全体概要】 各種スポーツ教室の開催を通じて、子供から高齢者までスポーツを楽しみながら市民の健康増進に貢献する。						【業務内容】 募集、受付、教室開講事務、契約等事務					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民	人口	人	55887.	55647.	55300.	55100.	55000.
			0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
スケート教室・各種水泳教室・ヨガ教室・エアロビクス教室・ピラティス教室・ジュニアテニス教室を実施	延べ開催数	回	933.	992.	978.	998.	998.
	教室数	教室	31.	33.	33.	33.	33.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
市民に対し、スポーツをするきっかけの場、スポーツをする場としてスポーツ教室を提供しスポーツに対する意識の高揚を図ることにより、健康増進に貢献する。	延べ参加者数	人	19638.	18982.	28620.	29220.	29220.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費
事業内 費 財 源 地 方 債 の 一 般 財 源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	12,366	11,870	15,489	15,489	15,489
	事業費計(A)	千円	3,898	4,908	2,157	2,157	2,157
人員	千円	1,803	1,759	1,759	1,759	1,759	
正職員		0.33人	0.33人	0.33人	0.33人	0.33人	
正規外職員	千円	1,362	1,387	1,387	1,387	1,387	
人員費計(B)	千円	3,165	3,146	3,146	3,146	3,146	
投入量(A)+(B)	千円	19,429	19,924	20,792	20,792	20,792	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	スポーツ基本法に基づき、市民の健康増進を図ることを目的としてスポーツの普及発展を行う。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	少子化及びテレビゲーム等の普及により、外で遊ぶ・スポーツをするという子供が減少してきている。その一方でニュースポーツ等のスポーツの多様化が進んでいる。高齢者は、健康志向としての参加が増加している。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	継続して参加する方が多く教室のマンネリ化が指摘されている。その一方で、水泳教室の一部では、定員を超える申込者があり抽選になってしまう教室もあり、定員や教室数を増やしてほしいという意見もある。						

(4)前回(平成26年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み										
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえた見直し内容)								
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	市民の意向を把握し、ニーズに沿った教室の企画をした。								
		(予算への反映)								
		<input type="checkbox"/> 削減(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>0</td><td>千円</td></tr> <tr><td>0</td><td>千円</td></tr> <tr><td>0</td><td>千円</td></tr> <tr><td>0</td><td>千円</td></tr> </table>	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
0	千円									
0	千円									
0	千円									
0	千円									
		<input type="checkbox"/> 増加(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>0</td><td>千円</td></tr> <tr><td>0</td><td>千円</td></tr> <tr><td>0</td><td>千円</td></tr> <tr><td>0</td><td>千円</td></tr> </table>	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
0	千円									
0	千円									
0	千円									
0	千円									
		<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし								

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) スポーツをするきっかけづくりとして企画するのは、市が行うべきである。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見直しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されていませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) スポーツが多種多様化している現在、ニーズを把握し新しい教室を実施することにより成果の向上を図ることができる。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はない。スポーツをするきっかけづくり、健康増進の役割を果たしているため廃止・休止できない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費は、指導者謝礼や教室委託料が大部分をしめているため削減は難しい。人件費についても、最低限のスタッフで受付などの事務を行っているので削減は難しい。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 参加者から受講料を徴収しているため受益者負担は適正である。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続   → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善)   →   { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) アンケートや近隣市町村の状況を調査したうえで、スポーツ教室を見直ししていく。																								
改革・改善による期待成果 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">✕</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">✕</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			✕	低下			✕
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			✕																				
	低下			✕																				
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 ) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 市民のニーズを把握するとともに、参加しやすいスポーツ教室を開催し、スポーツに接する機会の拡大を図る。																								
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																								
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																								

評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート				作成日	平成28年	6月	7日			
事務事業名	学校体育施設夜間開放事業				事業類型	施設の運営、維持管理						
担当部課G等	教育委員会	スポーツ推進室	スポーツ推進室体育G	記入者氏名	小池 裕樹							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						■ 実施計画対象事業				
	施策名	3 生涯にわたるスポーツに親しめる環境を整える										
	基本事業名	1 スポーツ環境の充実										
予算科目	一般会計	款	09	項	06	目	01	事業名	学校体育施設夜間開放事業	根拠法令	スポーツ基本法	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)				
<b>事業概要</b>												
<b>【全体概要】</b> 地域住民の身近なスポーツをする体育施設の拠点として、小中学校の体育施設を地域のスポーツ団体への夜間開放する。						<b>【業務内容】</b> 小中学校・利用団体との調整・施設等の管理。						
体育館 小学校11校・中学校5校・武道場5校 1 現状把握の部(DOシート)												
<b>(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移</b>												
						単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	
<b>①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等</b>						<b>④対象指標(対象の大きさを表す指標)</b>						
市民						人口	人	55887.	55647.	55576.	55300.	55000.
								0.	0.	0.	0.	0.
<b>②手段(具体的な事務事業のやり方)</b>						<b>⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</b>						
市内小中学校の体育館・武道場の開放						学校体育施設の開放校	学校	16.	16.	16.	16.	16.
								0.	0.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
<b>③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)</b>						<b>⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)</b>						
地域の学校体育施設を夜間開放することにより、スポーツを通して地域住民の相互の親睦を図りながら体力作り、生涯スポーツを推進する。						利用団体数	団体	100.	98.	89.	89.	89.
						利用者数	人	1601.	1621.	1631.	1631.	1631.
								0.	0.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
<b>(2) 投入量の推移</b>												
		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費				
事業費	財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	内訳	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	770	811	975	975	975	975	0	0	
事業費計(A)		千円	770	811	975	975	975	975	0	0		
人件費	正規職員	千円	1,462	0.27人	1,428	0.27人	1,428	0.27人	1,428	0.27人	1,428	0.27人
	正規外職員	千円	402	0.25人	330	0.20人	330	0.20人	330	0.20人	330	0.20人
	人件費計(B)	千円	1,864	1,758	1,758	1,758	1,758	1,758				
投入量(A)+(B)		千円	2,634	2,569	2,733	2,733	2,733	2,733				
<b>(3) 事務事業の環境変化・市民意見等</b>												
①事業を始めたきっかけ			昭和40年代の屋内運動場建設に伴い、地域住民のスポーツ・社会体育に対する関心や要求の高まりによるため。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			夜間開放により学校体育施設を利用する団体が増加し、体育館の開放が飽和状態になりつつある。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			利用団体からは、毎月の利用申請の改善・簡素化等の要望がある一方、学校側からは、利用団体のマナーの悪さが指摘されている。									



評価対象年度	平成27年度	<b>事務事業評価シート</b>				作成日	平成28年	6月	2日		
					点検日						
事務事業名	団体補助事業				事業類型	補助金					
担当部課G等	教育委員会	スポーツ推進室	スポーツ推進室体育G	記入者氏名	鈴木 教彦						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり				■ 実施計画対象事業				
	施策名		3 生涯にわたりスポーツに親しめる環境を整える								
	基本事業名		2 生涯スポーツ活動の支援								
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	スポーツ基本法				
		09	06	01	団体補助事業						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)				
事業概要											
【全体概要】 市民の体力向上による健康増進を目的に、市内8地区のまちづくり委員会・加盟団体・専門部と連携して、各種大会及び関連事業を開催している市体育協会に財政的な支援を行う。					【業務内容】 各種大会、教室の受付・進行等の業務、補助金交付及び体育協会事務局の事務						
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
那珂市体育協会加盟団体			加盟団体数(協会・連盟)	団体	19.	19.	19.	19.	19.		
					0.	0.	0.	0.	0.		
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
市体育協会に補助金を交付する。 市体育協会事務を補助する。			補助金額	千円	6677.	6792.	7118.	7118.	7118.		
					0.	0.	0.	0.	0.		
					0.	0.	0.	0.	0.		
					0.	0.	0.	0.	0.		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
市民へ「誰でも・いつでも・どこでも」スポーツができる環境づくりをしてもらう。また、市民が暮らしのなかにスポーツを取り入れ、健康で楽しさにあふれた生活をおくることができる。			連盟登録人数	人	2394.	2528.	2550.	2550.	2550.		
			少年団登録人数	人	830.	679.	650.	650.	650.		
			大会等の開催回数(本部主催のみ)	回	21.	19.	19.	19.	19.		
					0.	0.	0.	0.	0.		
(2)投入量の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費			
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	6,677	6,792	7,118	7,118	7,118	7,118			
事業費計(A)		千円	6,677	6,792	7,118	7,118	7,118	7,118			
人件費	正規職員	千円	11,370	205人	11,615	205人	11,615	205人	11,615	205人	
	正規外職員	千円	1,338	0.75人	1,375	0.75人	1,375	0.75人	1,375	0.75人	
	人件費計(B)	千円	12,708	12,990	12,990	12,990	12,990	12,990			
投入量(A)+(B)		千円	19,385	19,782	20,108	20,108	20,108	20,108			
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ			東京オリンピックを機会に体育協会設立の気運が高まり、体育協会の設立により、市民の健康増進が図られ、スポーツの振興とスポーツ団体の育成、各種競技団体の普及発展を目指して開始した。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			合併によりさらに団体数、大会数が増大したこと、スポーツ団体の増加に伴い大会事業も増加している。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			施設利用料の減免措置、補助金の増額、新規大会の開催等の要望が寄せられている。								

(4) 前回(平成26年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) 自主財源の確保のため、登録費を次年度より徴収することになった。また、体育協会の自立(法人化)に向けて課題等を整理していく。 (予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円 <input type="checkbox"/> 増加 (事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

<b>目的妥当性評価</b> <b>① 市関与の妥当性</b> ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 体育協会は、スポーツ振興の中心となって活動する団体であり、市民自らによるスポーツの推進のため、行政が支援することは必要である。
<b>有効性評価</b> <b>② 成果の向上余地</b> ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 大会・イベント等の開催にあたり、体育協会事務局や加盟団体が連携し、魅力ある事業を広く開催して行えば、加盟団体数・加盟人数を増やすことができ、成果を向上させることができる。
<b>有効性評価</b> <b>③ 類似事業との統廃合余地</b> 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業がない。また、体育協会は市民の健康増進のために数多くの事業を展開しており、廃止をすればスポーツの推進を阻害するとともに、市民の運動する機会が減り、健康増進へと繋がらない。
<b>効率性評価</b> <b>④ 事業費や人件費の削除余地</b> ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費は大会等の運営費であり、事業費削減を行えば参加費等の負担増になり、体育活動の意欲を削ぎ、スポーツの推進のマイナス要因となる。人件費は、体育協会の法人化により可能となる。
<b>公平性評価</b> <b>⑤ 受益者負担の適正余地</b> ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 歩く会、スキー・スノーボード教室等の事業は、参加費を徴収して実施しているため公平だと考える。

3 計画の部(PLAN)

<b>(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) 改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 体育協会が自ら自主運営を行えるよう、組織体制を切り替える。また、魅力ある事業を実施するために、事務局と加盟団体が連携する。	※担当課長、グループ長、担当者が記載 <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善																					
改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下		×	×	
			コスト																			
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持			×																		
	低下		×	×																		

<b>(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 ) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 自主運営を行えるよう法人化を検討する。自主財源確保のため会費の徴収を検討する。	※担当部長が記載
--	----------

<b>(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )	
---	--

<b>(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )	
--	--

評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート				作成日	平成28年	6月	7日			
事務事業名	体育施設管理事業				事業類型	施設の維持管理						
担当部課G等	教育委員会 スポーツ推進室		体育グループ		記入者氏名	諸藤 慎一						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり				■ 実施計画対象事業					
	施策名		3 生涯にわたリスポーツに親しめる環境を整える									
	基本事業名		1 スポーツ環境の充実									
予算科目	一般会計	款	09	項	06	目	03	事業名	体育施設管理事業	根拠法令	体育施設設置管理条例	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)			
<b>事業概要</b>												
<b>【全体概要】</b> グラウンド(神崎、戸多)・テニスコート(神崎)・ふれあいの杜公園(多目的広場、芝生広場、テニスコート)・瓜連体育館施設の管理事業						<b>【業務内容】</b> 那珂総合公園施設以外の体育施設について、維持管理及び緑化管理を行う。(ふれセンごだいの芝の管理も含む)						
1 現状把握の部(DOシート)												
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移												
						単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
建物、グラウンド、機械						建物数	棟	4.	4.	4.	4.	4.
						機械数、グラウンド数	箇所	6.	6.	6.	6.	6.
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
各施設の維持管理(保守点検、修繕、整備)、緑化管理(除草等)						除草作業	回	3.	3.	3.	3.	3.
						保守点検	回	3.	3.	3.	3.	3.
								0.	0.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
施設の維持管理、緑化管理を適切に行うことにより、市民が安全で快適にスポーツを楽しむことができる。						不具合発生	件	2.	5.	5.	5.	5.
						修繕件数	件	2.	5.	5.	5.	5.
						利用者数	人	45354.	49412.	49000.	49000.	49000.
								0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移												
		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費				
事業費	財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	所	その他	千円	1,635	1,632	1,206	1,194	1,194	0	0	0	
		一般財源	千円	8,510	8,056	16,618	18,067	137,131	0	0	0	
事業費計(A)		千円	10,145	9,688	17,824	19,261	138,325	0	0	0		
人件費	正	正規職員	千円	4,150	0.90人	1,120	0.20人	1,120	0.20人	1,120	0.20人	
	正	正規外職員	千円	1,585	1.30人	1,934	1.50人	2,020	1.50人	2,020	1.50人	
	人	件費計(B)	千円	5,735	3,054	3,140	3,140	3,140	3,140	3,140	3,140	
投入量(A)+(B)		千円	15,880	12,742	20,964	22,401	141,465					
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ			各体育施設の建設に伴い、施設管理が始まった。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			施設の老朽化により、修繕箇所が増加しつつある。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			各施設の整備、修繕の要望がある。									



評価対象年度	平成27年度	<b>事務事業評価シート</b>			作成日	平成28年	6月	7日
					点検日	年	月	日
事務事業名	総合公園管理事業			事業類型	施設の維持管理			
担当部課G等	教育委員会	スポーツ推進室	体育グループ	記入者氏名	諸藤 慎一			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						■ 実施計画対象事業
	施策名	3 生涯にわたリスポーツに親しめる環境を整える						
	基本事業名	1 スポーツ環境の充実						
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	都市公園条例	
		09	06	04	総合公園管理事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 H6 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)		
<b>事業概要</b>								
【全体概要】 スポーツの推進と健康増進のために那珂総合公園施設を維持管理し市民に開放する。				【業務内容】 那珂総合公園施設の維持管理、緑化管理				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
那珂総合公園の建物、グラウンド	建物数	棟	1.	1.	1.	1.	1.	
	グラウンド数	箇所	2.	2.	2.	2.	2.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
那珂総合公園施設の維持管理(保守点検、修繕、整備)、緑化管理(除草等)	保守点検	回	17.	20.	20.	20.	20.	
	緑化管理	回	5.	5.	5.	5.	5.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
那珂総合公園施設の維持管理、緑化管理を適切に行うことにより、市民が安全かつ快適にスポーツを楽しむことができる。	故障	件	15.	26.	25.	25.	25.	
	修繕	件	15.	26.	25.	25.	25.	
	利用者数	人	191592.	181346.	185000.	185000.	185000.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	10,600	10,000	9,900	9,500	9,500	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	10,836	20,403	9,760	9,281	9,281	
	一般財源	千円	131,164	121,117	151,437	147,593	165,229	
	事業費計(A)	千円	152,600	151,520	171,097	166,374	184,010	
人件費	正規職員	千円	9,850	2.30人	6,660	1.60人	6,660	1.60人
	正規外職員	千円	1,434	0.70人	1,935	1.00人	2,035	1.00人
	人件費計(B)	千円	11,284	8,595	8,695	8,695	8,695	
投入量(A)+(B)	千円	163,884	160,115	179,792	175,069	192,705		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	広くスポーツの推進を図ることを目的に平成6年度に那珂総合公園が建設されたため。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	建設より22年が経過し老朽化が進んでいるため、修繕箇所が増加しつつある。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	施設利用者から整備、修繕の要望がある。							



評価対象年度	平成27年度	<b>事務事業評価シート</b>			作成日	平成28年	6月	7日
事務事業名	総合公園運営事業			事業類型	施設の運営			
担当部課G等	教育委員会	スポーツ推進室	体育グループ	記入者氏名	諸藤 慎一			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						■ 実施計画対象事業
	施策名	3 生涯にわたりスポーツに親しめる環境を整える						
	基本事業名	1 スポーツ環境の充実						
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	都市公園条例	
		09	06	04	総合公園運営事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H6 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)		
<b>事業概要</b>								
【全体概要】 那珂総合公園を会場として様々なスポーツ大会が開催され、市民のスポーツ交流の場として利用されている。					【業務内容】 那珂総合公園運営のため施設の予約、受付、貸出から使用料の徴収を行っている。			

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
那珂総合公園利用者、市民	那珂市の人口	人	55887.	55647.	55576.	55300.	55000.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
個人や団体に対し施設の予約、貸出、使用料金の徴収を行う。	利用者ID登録者数	人	3808.	3975.	4100.	4200.	4300.	
	電話・窓口による予約率	%	82.6	79.7	79.	78.	77.	
	パソコン等による予約率	%	17.4	20.3	21.	22.	23.	
	施設稼働率	%	82.7	83.1	83.	83.	83.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
市民が那珂総合公園を使用してスポーツを親しむことにより、健康となり生きがいになる。	施設利用者数	人	191592.	181346.	185000.	185000.	185000.	
	うちプール利用者数	人	44549.	42065.	43000.	43000.	43000.	
	日頃からスポーツに取り組んでいる人の割合	%	47.3	47.1	48.	48.	48.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費	
事業内 費 財 源 費 財 源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	8,390	9,617	18,704	19,182	8,133	0
事業費計(A)	千円	8,390	9,617	18,704	19,182	8,133	0	
人件費	正規職員	千円	5,200	1,120	1,120	1,120	1,120	0.80人
	正規外職員	千円	3,968	4,714	4,909	4,909	4,909	4.00人
	人件費計(B)	千円	9,168	5,834	6,029	6,029	6,029	0.20人
投入量(A)+(B)	千円	17,558	15,451	24,733	25,211	14,162		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	住民の体力向上と健康増進を図るため、平成6年度にスポーツ・レクリエーションの拠点施設として那珂総合公園が建設された。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	震災直後の利用者減も回復し、近隣に同様の施設が建設されている中、安定した利用者数で推移している。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	立地条件は良いが、野球場・屋内温水プールとも規格に足らず公式大会が出来ない。また、施設の老朽化により修繕の要望がある。							

(4) 前回(平成26年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み														
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) 指定管理者制度の導入状況について、県内市町村施設の状況を調査した。 (予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td style="width: 40px; text-align: center;">0</td><td style="width: 40px; text-align: right;">千円</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">(人件費)</td><td style="text-align: right;">0</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">千円</td><td style="text-align: right;">0</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">増加(事業費)</td><td style="text-align: right;">0</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">(人件費)</td><td style="text-align: right;">0</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">千円</td><td style="text-align: right;">0</td></tr> </table> <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	(人件費)	0	千円	0	増加(事業費)	0	(人件費)	0	千円	0
0	千円													
(人件費)	0													
千円	0													
増加(事業費)	0													
(人件費)	0													
千円	0													

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民の健康づくり、スポーツの推進に大きく寄与しており妥当である。 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input type="checkbox"/> 余地がない 駐車場が少ないので、大会が重なると、他の施設利用者に不便をかけている状態である。 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない 類似事業はない。また、那珂総合公園は、本市のスポーツ推進の拠点となっており、ほかに代わる施設もなく、健康づくりやスポーツ推進のためにも廃止・休止はできない。 <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない 指定管理者制度の導入により、事業費や人件費の削減余地がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 施設利用については受益者負担が原則であり、使用料と減免規定の見直しについては、全庁的な見直しを進めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 駐車場の拡張に向けて検討を進める。また、より多くの市民に利用していただけるような運営体制を構築するため、指定管理者制度の導入に向け引き続き検討していく。更に、公平性・財源確保の観点から、使用料と減免規定の見直しを引き続き進めていく。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 ) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入) より多くの市民に円滑に利用してもらえるような体制、環境を整備する。管理運営については指定管理者制度の導入を検討する。使用料と減免規定の見直しを検討していく。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						

評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート				作成日	平成28年	6月	3日			
事務事業名	図書館管理事業				事業類型	施設の維持管理						
担当部課G等	教育委員会	図書館	図書館管理G	記入者氏名	磯野 剛志							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり				■ 実施計画対象事業					
	施策名		2 生涯にわたり学ぶことができる環境を整える									
	基本事業名		1 生涯学習環境の充実									
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	07	事業名	図書館管理事業	根拠法令	図書館法	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H18 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)					
<b>事業概要</b>												
<b>【全体概要】</b> 生涯学習の拠点として、また情報の集積・発信基地としての図書館を利用者が快適に利用できるように維持管理する。						<b>【業務内容】</b> 主な業務は施設の維持管理委託。 事業費は光熱水費、各種設備保守点検や修繕費、施設管理委託費等に支出。						
1 現状把握の部(DOシート)												
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移												
						単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
図書館						施設の延床面積	m <sup>2</sup>	3609.69	3609.69	3609.69	3609.69	3609.69
							0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
施設の維持管理						施設の修繕件数	件	14.	12.	13.	14.	15.
						施設管理の委託件数	件	4.	4.	4.	4.	4.
							0.	0.	0.	0.	0.	
							0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
図書館利用者が安全で快適に図書館の施設を利用できるように環境の整備をする。						施設に関する苦情件数	件	11.	4.	5.	5.	5.
						利用者数	人	313400.	309001.	315000.	320000.	325000.
							0.	0.	0.	0.	0.	
							0.	0.	0.	0.	0.	
(2) 投入量の推移												
		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費				
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	10,227	10,830	10,700	10,700	10,700	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	407	392	420	420	420	0				
	事業費計(A)	千円	18,506	11,771	16,304	17,069	18,939	0				
人件費	正規職員	千円	7,630	7,960	7,960	7,960	7,960	1,30人	7,960	1,30人		
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0.00人	0	0.00人		
	人件費計(B)	千円	7,630	7,960	7,960	7,960	7,960	7,960				
	投入量(A)+(B)	千円	36,770	30,953	35,384	36,149	38,019					
	(3) 事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ			市民からの強い要望と生涯学習の場として整備する必要があることから、平成18年那珂市立図書館の設置及び管理に関する条例により図書館を設置。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			今年で開館10周年を迎える。 老朽化や東日本大震災の影響もあり、施設の修繕箇所も増加傾向にある。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			図書館利用者から、より安全で快適な施設の提供が求められている。									

(4) 前回(平成26年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み										
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえた見直し内容)								
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	委託料の更新に当たらないため大きな変動がありませんでした								
		(予算への反映)								
		<input type="checkbox"/> 削減(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td style="border: 1px dashed black; width: 30px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black; width: 30px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black; width: 30px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black; width: 30px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr> </table>	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
0	千円									
0	千円									
0	千円									
0	千円									
		<input type="checkbox"/> 増加(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td style="border: 1px dashed black; width: 30px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black; width: 30px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr> </table>	0	千円	0	千円				
0	千円									
0	千円									
		<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし								

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市の施設であり利用者の快適な空間を維持するため、市の管理が妥当としています
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 快適な利用を確保するため、施設の維持管理を引き続き継続していく
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 図書館管理における類似事業はなく、図書館を運営している限り管理はして行かなければならぬ
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 委託料の見直しによる事業費の削減ができる可能性がある。 人件費は必要最小限の職員で管理しており削減できない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 図書館法第17条により徴収できない

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) →	<input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善																					
<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																						
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 委託更新時に、質を下げずに委託料の削減が可能か検討する																						
改革・改善による期待成果																						
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○		X	低下		X	X
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	○		X																		
	低下		X	X																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))    ※担当部長が記載 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						
改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入) 委託更新時に、質を下げずに委託料の削減が可能か検討する。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						

評価対象年度	平成27年度	<b>事務事業評価シート</b>			作成日	平成28年	6月	3日		
事務事業名	図書館運営事業				事業類型	施設の運営				
担当部課G等	教育委員会 図書館	図書館管理G	記入者氏名	磯野 剛志						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						□ 実施計画 対象事業		
	施策名	2 生涯にわたり学ぶことができる環境を整える								
	基本事業名	1 生涯学習環境の充実								
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	07	事業名 図書館運営事業	根拠法令	図書館法
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 H18 年度～)				□ 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)			
<b>事業概要</b>										
<b>【全体概要】</b> 生涯学習の拠点として、また、情報の集積・発信基地として、より多くの市民が利用できるように図書館を運営する。					<b>【業務内容】</b> 主な業務は、図書館資料の選定購入、図書館まつり等の企画、図書館システムの保守など。 事業費は、報酬、賃金、システム賃借料、資料の購入費等へ支出。					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
市民	人口	人	55887.	55647.	55576.	55300.	55000.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
図書館システムの維持管理、図書館資料の選定・購入等を行う。	開館日数	日	288.	283.	288.	288.	288.	
	購入資料数	冊	7575.	7648.	8000.	8500.	9000.	
	蔵書数	冊	160574.	169476.	177500.	186000.	195000.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
多くの市民に自学自習の場を提供することにより、生涯学習への意識向上を図る。	来館者数	人	313400.	309001.	315000.	320000.	325000.	
	貸出資料数	冊	483238.	471537.	510000.	520000.	530000.	
	市民一人当たりの貸出資料数	冊	8.65	8.47	9.22	9.44	9.66	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	15,000	17,335	17,000	17,000	17,000	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	3	9,003	3	3	3	
	事業費計(A)	千円	69,991	69,878	70,052	70,000	70,000	
人件費	正規職員	千円	6,530	1.10人	12,340	1.90人	12,340	1.90人
	正規外職員	千円	18,036	10.80人	18,036	10.80人	18,036	10.80人
	人件費計(B)	千円	24,566	30,376	30,376	30,376	30,376	
	投入量(A)+(B)	千円	94,557	100,254	100,428	100,376	100,376	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	那珂市立図書館の開館に伴う事業							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	平成18年10月に開館、所蔵資料も増加し市民の生涯学習の拠点としてなくてはならない施設になっている。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土資料や行政資料等の充実を望む声がある(図書館利用者)</li> <li>・新規の利用者を増加させる取り組みの要望が寄せられている(図書館協議会委員)</li> </ul>							



評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート				作成日	平成28年	6月	5日			
事務事業名	公民館施設管理事業				事業類型	施設の運営、維持管理						
担当部課G等	教育委員会 中央公民館		公民館G		記入者氏名	南波 三千代						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり				■ 実施計画対象事業					
	施策名		2 生涯にわたり学ぶことができる環境を整える									
	基本事業名		1 生涯学習環境の充実									
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	02	事業名	公民館施設管理事業	根拠法令	社会教育法、那珂市公民館の設置及び管理等に関する条例	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)					
<b>事業概要</b>												
<b>【全体概要】</b> 生涯学習活動の拠点である中央公民館を、市民が快適に学習に取り組める場として環境を整備するため、維持管理を行う。						<b>【業務内容】</b> ・各種設備等に係る保守点検、清掃、修繕等、施設の維持管理委託業務。 ・燃料費、光熱水費の管理。						
1 現状把握の部(DOシート)												
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移												
						単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
中央公民館施設及び各種設備						施設数	件	1.	1.	1.	1.	1.
								0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
施設維持管理業務。各設備点検及び修繕を行った。						点検・検査・修繕の箇所数	件	25.	24.	20.	20.	20.
								0.	0.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
中央公民館施設及び各種設備を適切な状態に保ち、市民に利用してもらう。						点検・検査の実施率	%	100.	100.	100.	100.	100.
						苦情件数	件	0.	0.	0.	0.	0.
						利用者数	人	89255.	90865.	90000.	90000.	90000.
								0.	0.	0.	0.	0.
(2) 投入量の推移												
		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費				
事業費	財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	内	県支出金	千円	2,200	2,080	2,000	2,000	2,000	2,000	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	外	その他	千円	1,169	140	108	96	96	0	0	0	
		一般財源	千円	23,757	15,091	25,729	38,095	20,095	0	0	0	
事業費計(A)		千円	27,126	17,311	27,837	40,191	22,191	0	0	0		
人件費	正規職員	千円	6,800	1.00人	8,016	1.22人	8,016	1.22人	8,016	1.22人		
	正規外職員	千円	4,000	2.00人	2,796	1.70人	2,796	1.70人	2,796	1.70人		
	人件費計(B)	千円	10,800		10,812		10,812		10,812			
投入量(A)+(B)		千円	37,926		28,123		38,649		51,003		33,003	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ			市民に生涯学習の場を提供することを目的として、昭和59年に中央公民館が開館した。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			施設は経年劣化が進み、老朽化してきている。また、設備等も耐用年数を超えており、修理や修繕が欠かせない状態となっている。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			冷暖房が集中管理で部屋ごとの温度設定ができないため、利用者から「暑すぎる」「寒すぎる」等の意見があった。									



評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート				作成日	平成28年	6月	5日		
事務事業名	学級講座開設事業				事業類型	各種教室の開催					
担当部課G等	教育委員会 中央公民館		公民館G		記入者氏名	南波 三千代					
総合計画体系	施策の大綱(施策名) 第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり				<input type="checkbox"/>	実施計画対象事業					
	施策名 2 生涯にわたり学ぶことができる環境を整える										
	基本事業名 2 生涯学習活動の支援										
予算科目	一般会計	款 09	項 05	目 02	事業名 学級講座開設事業	根拠法令	社会教育法 那珂市公民館規則				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)				
事業概要											
【全体概要】 市民が生涯学習に取り組むきっかけづくりとして、時代に即した、また地域の声を反映した魅力ある学習講座を開催する。 学習をより深めながら生涯にわたって学び続けられるよう、生涯学習に関する情報提供や、自主教室の立ち上げの					【業務内容】 ・学級講座の開設 ・公民館まつりの開催 ・映画会の開催 ・学習の成果記録としての記録誌「ふれあい文集」発行						
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
市民(人口)及び市外在住者(おおよそ)			人口	人	60000	60000	60000	60000	60000	60000	
					0	0	0	0	0	0	
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
募集要項各戸配布及びお知らせ版、那珂市ホームページを活用し、受講生募集を行い、講座や公民館まつり、映画会を開催した。年度末に「ふれあい」文集を発行した。			講座数	講座	13	14	15	15	15		
			全教室の延べ開催回数	回	150	150	170	170	170		
			公民館まつり体験教室数	教室	15	17	15	15	15		
			映画会開催数	回	2	1	1	1	1		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
生涯学習へ取り組む意欲を向上させる。			受講完了者(7割以上出席者)の割合	%	98	98	98	98	98		
			自主教室となった割合	%	0	7.14	10	10	10		
			受講者数	人	815	662	600	600	600		
			映画会来場者数	人	828	113	300	300	300		
(2)投入量の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費			
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	904	881	1,191	1,100	1,100	0			
	一般財源	千円	971	775	1,210	1,300	1,300	0			
事業費計(A)		千円	1,875	1,656	2,401	2,400	2,400	0			
人件費	正規職員	千円	4,730	5,100	5,100	5,100	5,100	0.75人	0.75人	0.75人	
	正規外職員	千円	4,000	3,783	3,783	3,783	3,783	2.30人	2.30人	2.30人	
	人件費計(B)	千円	8,730	8,883	8,883	8,883	8,883	8,883			
投入量(A)+(B)		千円	10,605	10,539	11,284	11,283	11,283				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ			社会教育法の公民館が行う事業として、「定期講座を開設すること」に端を発する。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			近年、民間による趣味、知識や技術習得のための事業が多く行われるようになり、市民の選択肢が増えてきている。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			講座数の増や開催日等の調整。また、カリキュラム内容によっては、募集定員の増という要望の声も寄せられている。								

(4) 前回(平成26年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み										
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) 他市町村の講座を視察するなど、調査研究に努めている。 (予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 50px; text-align: center;">0</td><td style="width: 50px; text-align: right;">千円</td></tr><tr><td style="text-align: center;">(人件費)</td><td style="text-align: right;">0</td></tr></table> <input type="checkbox"/> 増加(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 50px; text-align: center;">0</td><td style="width: 50px; text-align: right;">千円</td></tr><tr><td style="text-align: center;">(人件費)</td><td style="text-align: right;">0</td></tr></table> <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	(人件費)	0	0	千円	(人件費)	0
0	千円									
(人件費)	0									
0	千円									
(人件費)	0									

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市民に生涯学習の場を提供し、絆作りと活力あるコミュニティの形成を図る。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) より多くの市民が受講できる企画立案。自主講座への移行の支援。
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 社会教育法に基づき講座を開設している。生涯学習のきっかけづくりとして事業を実施している。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 必要最小限の事業費と人件費で行っている。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 講師料は受講料で賄っている。教材費等は別途受講生の負担であり、公平かつ公正である。また、平成28年度からは託児代を受益者に一部負担してもらう。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) 改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 市民ニーズに応える講座企画ができるよう、調査・研究に努める。	※担当課長、グループ長、担当者が記載 <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 ) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 市民ニーズに応える講座企画ができるよう、調査・研究に努める。	
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )	
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )	

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			×
	低下			×

評価対象年度	平成27年度	<b>事務事業評価シート</b>				作成日	平成28年	6月	2日			
					点検日							
事務事業名	歴史民俗資料館管理事業				事業類型	施設の維持管理						
担当部課G等	教育委員会	歴史民俗資料館	歴史民俗G		記入者氏名	木内 忠						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり				□ 実施計画 対象事業					
	施策名		5 貴重な歴史資産と伝統文化を継承し活用を図る									
	基本事業名		1 歴史資産の保護保存									
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	04	事業名	歴史民俗資料館管理事業	根拠法令	那珂市歴史民俗資料館設置及び管理に関する条例	
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)				□ 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)					
<b>事業概要</b>												
<b>【全体概要】</b>						<b>【業務内容】</b>						
・歴史民俗資料館施設機能の維持管理・文化財及び市に 関する歴史資料を収集・保管及び展示し、郷土の歴史 と文化に対する市民の教養と理解深め、もって市民の教 育、学術及び文化の振興を図る。・文化財等資産を様々な 角度から体系的に紹介する。						・施設管理・市内文化財等の資料の整備・保存を図り、様々な角度 から体系的に展示及び公開をする。						
1 現状把握の部(DOシート)												
<b>(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移</b>												
						単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
歴史民俗資料館設備、資料						文化財資料数	点	1330.	1330.	1330.	1330.	1330.
								0.	0.	0.	1330.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
歴史民俗資料館施設の維持管理及び文化財資料・ 民俗資料の保存管理を適切に行なう。						燻蒸回数	回	1.	1.	1.	1.	1.
						空調保守点検回数	回	1.	1.	1.	1.	1.
						消防設備保守点検回数	回	1.	1.	1.	1.	1.
								0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
開館予定日数を休まず開館する。破棄する資料をだ さない。						開館日数	日	302.	302.	302.	302.	302.
						破棄資料数	点	0.	0.	0.	0.	0.
						施設に対する苦情件数	件	0.	1.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
<b>(2) 投入量の推移</b>												
		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費				
事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0	0	0				
	事業費計(A)	千円	1,980	1,359	1,579	2,380	2,380	0				
人 件 費	正規職員	千円	3,388	2,861	0	0	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人
	人件費計(B)	千円	3,388	2,861	0	0	0	0				
投入量(A)+(B)		千円	5,368	4,220	1,579	2,380	2,380					
<b>(3) 事務事業の環境変化・市民意見等</b>												
①事業を始めたきっかけ		文化財及び市に関する歴史資料を収集、保管及び展示し、その活用を図り、郷土の歴史と文化 に対する市民の教養と理解を深め、もって市民の教育、学術及び文化の振興を図るため、平成6 年から開館した。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根 拠法令等はどう変化していますか? 開 始時期と比べてどう変わりましたか?)		開館以来入館者は増加しており、今後も入館者の増加に繋げられるように適切に施設と資料を 維持・保存管理していく。										
③関係者からの意見要望(この事務事 業に対して関係者(市民、議会、事業対 象者、利害関係者等)からどんな意見や 要望が寄せられていますか?)		常設展示の変化が足りない。もっと充実して欲しい。常設展以外に季節展や特別展の充実にも努 めてほしい。										

<b>(4) 前回(平成26年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み</b>																		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) (前回評価結果を踏まえた見直し内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> ) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> ) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円														
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	

<b>2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>	
<b>目的・妥当性評価</b>	<b>① 市関与の妥当性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？ 文化財及び歴史資料を収集・保存・展示し、その活用を図り、市民に郷土歴史と文化の理解・認識をしてもらうための施設、設備などの管理は市が行うのが妥当である。
<b>有効性評価</b>	<b>② 成果の向上余地</b> <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？ 施設の経年化で修繕費の増加が見込まれる。管理業務などの委託費がより複数年で契約ができれば、コスト削減につながる余地がある。
<b>評価</b>	<b>③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？ 他に類似した事業はない。文化財の保護、調査及び出土品の適正な保存・管理等は行政の務めである。
<b>効率性評価</b>	<b>④ 事業費や人件費の削減余地</b> <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？ 歴史民俗資料館管理・運営のほか、文化財保護、市史編さん、特別企画展、開発による埋蔵文化財調査等の事業を最低限の人数で対応しているためこれ以上の削減はできない。
<b>公平性評価</b>	<b>⑤ 受益者負担の適正余地</b> <input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？ 事業の趣旨、事業の規模から、個人負担にはなじまない。郷土の歴史や文化の振興を図るためのもので、受益者に負担を求める事業ではない。

<b>3 計画の部(PPLAN)</b>																						
<b>(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)	<b>改革・改善による期待成果</b> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持			×																		
	低下			×																		
<b>(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))</b> ※担当部長が記載 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 ) 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入) 現状維持とする。																						
<b>(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						
<b>(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						

評価対象年度	平成27年度	<b>事務事業評価シート</b>			作成日	平成28年	6月	2日			
事務事業名	歴史民俗資料館運営事業			事業類型	施設の運営						
担当部課G等	教育委員会	歴史民俗資料館	歴史民俗G	記入者氏名	木内 忠						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						■ 実施計画対象事業			
	施策名	5 貴重な歴史資産と伝統文化を継承し活用を図る									
	基本事業名	1 歴史資産の保護保存									
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	那珂市歴史民俗資料館設置及び管理に関する条例				
		09	05	04	歴史民俗資料館運営事業						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)				
<b>事業概要</b>											
【全体概要】				【業務内容】							
・歴史民俗資料館施設機能の運営・文化財を展示し、郷土の歴史と文化に対する市民の教養と理解深め、もって市民の教育、学術及び文化の振興を図る。・文化財等資産を様々な角度から体系的に紹介する。				・施設管理・市内文化財等の資料の整備・保存を図り、様々な角度から体系的に展示及び公開をする。							
1 現状把握の部(DOシート)											
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移											
						単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
全市民			市民			人	55887.	55647.	55576.	55300.	55000.
			文化財史資料			点	1330.	1340.	1350.	1360.	1370.
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
市内文化財資料史の収集・展示公開 展示室機器等の修繕			開館日数			日	302.	302.	302.	302.	302.
			常設展の資料点数			件	170.	170.	170.	170.	170.
			年間資料収集数			件	30.	30.	30.	30.	30.
							0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
市民に市の歴史、文化資産を知ってもらう。			入館者数			人	15852.	16310.	17000.	17500.	18000.
							0.	0.	0.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
(2) 投入量の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費			
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	事業費計(A)	千円	8,769	8,288	10,251	8,184	8,184	0			
人件費	正規職員	千円	3,327	3,514	0	0	0	0	0		
	正規外職員	千円	840	840	0	0	0	0	0		
	人件費計(B)	千円	4,167	4,354	0	0	0	0			
投入量(A)+(B)		千円	12,936	12,642	10,251	8,184	8,184				
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ			文化財及び市に関する歴史資料を収集、保管及び展示し、その活用を図り、郷土の歴史と文化に対する市民の教養と理解を深め、もって市民の教育、学術及び文化の振興を図るため、平成6年から開館した。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			開館以来入館者は増加しており、今後も入館者の増加に繋げられるように資料を収集・管理していく。施設の経年に伴い、施設設備等の修繕増加が見込まれる。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			常設展示の変化が足りない。もっと充実して欲しい。展示における市民参加の必要性等の声がある。資料館までの標識、案内板等の設置及び公共交通機関の整備の要望がある。								

(4) 前回(平成26年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み								
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえた見直し内容)						
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	展示については、ホームページ等を活用し、情報発信に努めた。案内板の改修及び計画的な施設の修繕を検討する。						
		(予算への反映)						
		<input type="checkbox"/> 削減(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 50px;"></td><td style="text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td>(人件費)</td><td style="text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table>		0	千円	(人件費)	0	千円
	0	千円						
(人件費)	0	千円						
		<input type="checkbox"/> 増加(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 50px;"></td><td style="text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td>(人件費)</td><td style="text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table>		0	千円	(人件費)	0	千円
	0	千円						
(人件費)	0	千円						
		<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし						

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 貴重な歴史遺産と伝統文化を継承し活用するために、文化財及び歴史資料を収集・保存・展示し、その活用を図り、市民に郷土歴史と文化の理解・認識をしていただくことは、市の重要な役割である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 継続して適正な運営に努めており、成果にも表れている。
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はない。開発行為に伴う文化財の保護、埋蔵文化財の調査及び出土品の適正な保存等は行政の務めである。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 歴史民俗資料館管理・運営のほか、文化財保護、市史編さん、特別企画展、開発による埋蔵文化財調査等の事業を最低限の人数で対応しているためこれ以上の削減はできない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求めない事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求めない事業ではない 歴史遺産や伝統文化は、市のものであり市民のものであるため、特定の受益者はいない。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																					
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 同規模の近隣市町村の歴史民俗資料館と比べると、来館者数は極めて多い。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 ) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 来館者を増やすため、情報発信力を高めるとともに、ビデオのリニューアル等見せる工夫を検討する。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						

評価対象年度	平成27年度	<b>事務事業評価シート</b>			作成日	平成28年	6月	2日			
事務事業名	特別展開催事業				事業類型	イベントの開催					
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館	歴史民俗G	記入者氏名	中嶋 圭子							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						■ 実施計画対象事業			
	施策名	5 貴重な歴史資産と伝統文化を継承し活用を図る									
	基本事業名	2 伝統文化の活用と伝承									
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	04	事業名	特別展開催事業	根拠法令	那珂市歴史民俗資料館設置及び管理に関する条例
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
<b>事業概要</b>											
<b>【全体概要】</b> ・歴史民俗資料館多目的ホールにおいて、特別企画展、収蔵品展等を開催する。・来館者数の増大を図り、先人が残した文化遺産に対する見聞を広め、文化財保護の意識を高める。						<b>【業務内容】</b> ・テーマに沿った資料展示を行う。・展示期間中に展示講演会、または展示解説会を開催する。・歴史講演会を開催する。					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
・市民			那珂市の人口	人	55887.	55647.	55576.	55300.	55000.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
・戦後70年記念事業「戦後70年の記憶」 ・特別企画展「愛郷塾と後藤兄弟」 ・季節展「端午の節句展」・「正月飾り展」・「雛人形展」			企画展等催し物開催回数	回	5.	5.	5.	5.	5.	0.	0.
			講演会実施回数	回	7.	7.	7.	7.	7.	0.	0.
					0.	0.	0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
・市民が文化財に接する機会を増やすことにより、文化財に対する関心や興味を高め、文化財保護意識の高揚を図る。			入館者数	人	15852.	16310.	17000.	17500.	18000.	0.	0.
			歴史資産・伝統文化を大切に思っている人の割合	%	94.63	94.43	95.	95.5	96.	0.	0.
					0.	0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費			
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	798	733	862	932	932	0			
	事業費計(A)	千円	798	733	862	932	932	0			
人件費	正規職員	千円	2,157	3,955	0	0	0	0	0	0	0
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	人件費計(B)	千円	2,157	3,955	0	0	0	0			
投入量(A)+(B)		千円	2,955	4,688	862	932	932				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ			資料館施設及び収蔵資料を有効活用し、市民の歴史文化への関心を高めることを目的として開始した。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			・特別企画展が広く市民に浸透し、年間入館者数が増加している。・年に2度以上来館するリピーターや、次回開催企画展案内の希望者が増えている。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			・来館者アンケートにより、継続的に企画展開催を希望する意見が多く寄せられている。・市中心部より離れているため、交通の便の悪さや案内看板の不備を指摘する声が多く寄せられている。								

<b>(4) 前回(平成26年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み</b>												
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) 内容のある企画展が開催できた。施設全体の経年に伴う、改善・改修計画を検討して必要がある。 (予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; text-align: center;">0</td><td style="width: 40px;">千円</td></tr><tr><td style="text-align: center;">(人件費)</td><td style="text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> <input type="checkbox"/> 増加 (事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; text-align: center;">0</td><td style="width: 40px;">千円</td></tr><tr><td style="text-align: center;">(人件費)</td><td style="text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	(人件費)	0	千円	0	千円	(人件費)	0	千円
0	千円											
(人件費)	0	千円										
0	千円											
(人件費)	0	千円										

<b>2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>	
目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市民の歴史文化への関心を高めることは、市の文化レベルの向上につながる。文化の香り高いまちづくりを提唱する那珂市にとって、企画展を開催し、積極的に歴史文化を周知し、次世代へ継承していく義務がある。また、文化財は、市の大切な財産であり、公共の立場で、それを守り伝えていくことが妥当であると考え。
有効性 評価	② 成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 企画展テーマや展示資料の内容を見直し、入館者を増加させる可能性があるが、展示施設の改善(空調設備・備え付け展示ケース等)の改善が必須である。
評価	③ 類似事業との統廃合余地 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 歴史資料を扱うという特異な性質上、類似事業は考えられない。また、歴史や伝統文化啓蒙促進のため、企画展が小中学校の授業に取り入れられる場合もあり、学習支援活動も兼ねており、欠かすことのできない事業である。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費は、これまでも最低限の予算で展示を行ってきた。これ以上の予算削減は、企画展の存続が困難となる。人件費に関しては、職員が最低人数であたっている。また、展示には経験と知識が必要とされるため、アウトソーシングでは事業遂行は困難である。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 <input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 館の設備不足(空調設備の不足や備え付けケースの不備)のため、展示できる資料に限りがあり、そのような状況下での展示では入館料を徴収するレベルの展示には達していないため。

<b>3 計画の部(PPLAN)</b>																						
(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 年々、来館者数は増加傾向にはあるが、企画展テーマ、展示資料の充実を図ることである程度入館者数増加を見込むことはできる。しかし、これ以上の展示内容及び大幅な来場者の増加を望むには、展示設備の改善が必須である。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低下</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持	X	X	X	低下	X	X	X
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持	X	X	X																		
	低下	X	X	X																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 ) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入) 企画力を生かした特別展を開催し、より多くの人に那珂市の貴重な歴史資産、文化に親しむ環境・機会を整備する。展示設備の改善も検討する。	※担当部長が記載																					
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						

評価対象年度	平成27年度	<b>事務事業評価シート</b>				作成日	平成28年	6月	2日			
事務事業名	文化財保護対策事業				事業類型	調査						
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館	歴史民俗G	記入者氏名	木内 忠								
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり							□ 実施計画対象事業			
	施策名	5 貴重な歴史資産と伝統文化を継承し活用を図る										
	基本事業名	1 歴史資産の保護保存										
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	05	事業名	文化財保護対策事業	根拠法令	那珂市文化財保護条例	
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)					□ 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)				
事業概要												
【全体概要】						【業務内容】						
・国民共有の財産である文化財に対して、重要性の啓発、保護意識の高揚及び愛護思想の普及啓発を図るとともに文化財の指定等について協議推進する。 ・文化財保護審議会は文化財の保存活用について、調査審査し教育委員会に建議する。						・文化財保護審議会開催・資料等の整理・復元・保存及び調査研究・照会等による埋蔵文化財の保護指導・試掘調査・埋蔵文化財の発掘調査・記録						
1 現状把握の部(DOシート)												
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移												
						単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
文化財、民俗資料 市民						保護すべき文化財、資料数	点	1330.	1330.	1340.	1350.	1360.
						那珂市の人口	人	55887.	55647.	55576.	55300.	55000.
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
文化財保護審議会開催 文化財資料等の調査研究						文化財保護審査会の開催日数	回	0.	1.	2.	2.	2.
						発掘・試掘調査件数	件	5.	5.	6.	6.	6.
								0.	0.	0.	0.	
								0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
文化財としての資料を発掘するとともに、保護保存を図り次世代へ継承する。						文化財指定数	件	84.	84.	85.	87.	88.
						指定文化財を知っている人の割合	%	61.	61.5	62.	62.	62.5
						歴史資産・伝統文化を大切に思っている人の割合	%	94.63	94.45	95.	95.5	96.
								0.	0.	0.	0.	
(2) 投入量の推移												
		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費				
事業費	財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	内訳	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	0		
		一般財源	千円	570	839	3,603	4,161	4,161	0	0		
事業費計(A)		千円	570	839	3,603	4,161	4,161	0	0			
人件費	正規職員	千円	2,480	1,920	0	0	0	0	0			
	正規外職員	千円	860	860	0	0	0	0	0			
	人件費計(B)	千円	3,340	2,780	0	0	0	0	0			
投入量(A)+(B)		千円	3,910	3,619	3,603	4,161	4,161	0	0			
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ			市文化財保護条例に基づき、市内に存在する文化的価値が高い文化財について、保存・活用に関する重要事項を計画的に調査審議し保存するため。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			事業の推進により、指定文化財数の増加や史跡をはじめ文化財の保護活用についての関心が高まっている。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			身近にある文化財への関心が高まった。埋蔵文化財の保護について、理解を深めるようにPRが必要ではないか。文化財保護行政にもっとも力を入れるべきではないか。									

<b>(4) 前回(平成26年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み</b>										
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) 包蔵地に対する開発関係の情報の把握に努めた。 (予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 50px; text-align: center;">0</td><td style="width: 50px; text-align: right;">千円</td></tr><tr><td style="text-align: center;">(人件費)</td><td style="text-align: right;">0</td></tr></table> <input type="checkbox"/> 増加(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 50px; text-align: center;">0</td><td style="width: 50px; text-align: right;">千円</td></tr><tr><td style="text-align: center;">(人件費)</td><td style="text-align: right;">0</td></tr></table> <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	(人件費)	0	0	千円	(人件費)	0
0	千円									
(人件費)	0									
0	千円									
(人件費)	0									

<b>2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>	
目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？ 市内の貴重な埋蔵文化財の保護は、公共が行う義務的業務である。先人の残した文化遺産は国家国民の貴重な財産であり、これを保護することは行政の責務でもある。
有効性 評価	② 成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ●当初の見直しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？ 他課が把握した開発情報を共有することにより、開発情報を入手することができる。県文化課指導による「埋蔵文化財専門員」を配置したことにより、埋蔵文化財の迅速・的確な保護活用が図られる。
評価	③ 類似事業との統廃合余地 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？ 類似事業はない。休止・廃止は、貴重な財産である文化遺産・文化財を喪失する恐れがあるとともに、指定文化財の維持管理に支障をきたす。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託することで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？ 文化財の保護及び普及啓発費用であるため削減できない。文化財の内容にもよるが、保護には特殊技術を要することから、多くの経費を必要とする。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 <input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由は何ですか？ 文化遺産・文化財は、市のものであり市民のものであるため、特定の受益者はいない。

<b>3 計画の部(PLAN)</b>																						
(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 関係各課の開発情報等を常に把握し、文化財の適正な維持保存を図る。平成24年度より文化財専門員を配置している。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>⊗</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>⊗</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			⊗	低下			⊗
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			⊗																		
	低下			⊗																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 関係各課の開発情報等を常に把握し、文化財の適正な維持保存を図る。	※担当部長が記載																					
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持																						

評価対象年度	平成27年度	<b>事務事業評価シート</b>				作成日	平成28年	6月	2日		
事務事業名	額田城跡整備事業				事業類型	維持管理					
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館	歴史民俗G			記入者氏名	木内 忠					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						■ 実施計画対象事業			
	施策名	5 貴重な歴史資産と伝統文化を継承し活用を図る									
	基本事業名	1 歴史資産の保護保存									
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	那珂市文化財保護条例				
		09	05	05	額田城跡整備事業						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)										
事業概要											
【全体概要】 額田城跡指定範囲(文化財)を後世に伝えるための整備、管理及び保存をすることにより地域の活性化に活用していくために、年次計画に基づき地域の管理組合に委託する。額田城跡の現状維持、保存に努める。					【業務内容】 額田城跡整備・管理委託 ①遊歩道・進入路整備、看板整備等 ②草払・倒木処理・間財等						
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移											
						単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
額田城跡、市民、市外来訪者				市民	人	55887.	55647.	55576.	55300.	55000.	
				額田城跡計画面積	ha	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
額田城跡整備工事 額田城跡保存会に関する管理委託 草払・倒木処理・間伐等				保存会の年間整備活動日数	回	37.	40.	40.	40.	40.	
				整備工事発注件数	件	0.	1.	1.	0.	0.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
額田城跡を保存管理し次世代へ継承する。文化財が広く市民に親しまれ、歴史と文化の理解の促進を図る。				整備活動人数	人	1050.	1050.	1050.	1050.	1050.	
				歴史遺産・伝統文化を大切に思っている人の割合	%	94.63	94.43	95.	95.5	96.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移											
		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費			
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	5,000	0	0	0			
	事業費計(A)	千円	646	2,049	8,919	16,000	16,000	0			
人件費	正規職員	千円	2,401	1,140	1,140	1,140	1,140	0.16人			
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0.00人			
	人件費計(B)	千円	2,401	1,140	1,140	1,140	1,140	0.16人			
投入量(A)+(B)		千円	3,047	3,189	15,059	17,140	17,140				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ			額田城跡の早期の整備や保存を求める市民からの要望があり、平成10年に額田城跡を市文化財に指定した。その後、地元市民が中心になり額田城跡保存会を設立し活動を開始した。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			額田城跡保存会の会員や地権者が高齢となり、今後の活動について若い世代に継承することが望まれている。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			自然を利用した公園や城郭を整備し、「市民の憩いの場」としてほしい意見が寄せられている。								

(4) 前回(平成26年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み																	
<p>前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？</p>	<p>(前回最終評価)</p> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	<p>(前回評価結果を踏まえた見直し内容)</p> <p>地元の保存会や地域と市が協働により保存管理を実施。また、歴史的・観光資源として活用できるように整備を進めることを検討を進めた。木橋の架け替え、一部手すりの設置を実施。</p>															
		<p>(予算への反映)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 削減 (事業費)</td> <td>0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>(人件費)</td> <td>0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 増加 (事業費)</td> <td>0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>(人件費)</td> <td>0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円	(人件費)	0	千円	<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円	(人件費)	0	千円	<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし		
<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円															
(人件費)	0	千円															
<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円															
(人件費)	0	千円															
<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし																	

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

<p>目的 妥当性 評価</p> <p>① 市関与の妥当性</p> <p>●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>貴重な文化遺産である額田城跡の整備・維持管理は公共性が高い。また、史跡面積が7.7haあることから市民団体だけでは負担が重過ぎるため、市の支援が必要である。</p>
<p>有効性 評価</p> <p>② 成果の向上余地</p> <p>●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>額田城跡を歴史的な自然公園として保存・整備することにより、歴史的資産や文化財に親しむことは、重要であるとする市民を増やすことができる。</p>
<p>評価</p> <p>③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性</p> <p>●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>類似事業はない。貴重な文化財保護のため、また、保存のため尽力している地域住民のためにも廃止すべきではない。</p>
<p>効率性 評価</p> <p>④ 事業費や人件費の削減余地</p> <p>●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>事業費及び人件費も最低限で実施しているため削減の余地がない。</p>
<p>公平性 評価</p> <p>⑤ 受益者負担の適正余地</p> <p>●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない</p> <p>指定区域内の土地は、地権者の協力により一部無償借地している。また、維持作業も多くのボランティアで成り立っている。そのような現状から、来訪者から負担金をとるような城跡ではない。</p>

3 計画の部(PLAN)

<p>(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 }  <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)</p> <p>改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 保存管理計画(第2期)を作成し整備を進める。</p>	<p>改革・改善による期待成果</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>⊗</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>⊗</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			⊗	低下			⊗
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			⊗																				
	低下			⊗																				
<p>(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )</p> <p>改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 保存管理計画(第2期)を作成し、本丸部分の公有地化と学術調査を実施し、歴史的な自然公園としての整備を進める。</p>																								
<p>(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )</p>																								
<p>(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )</p>																								

評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート			作成日	平成28年	6月	2日			
事務事業名	城館跡調査事業				事業類型	調査	点検日	年	月	日	
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館	歴史民俗G	記入者氏名	木内 忠							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						■ 実施計画対象事業			
	施策名	5 貴重な歴史資産と伝統文化を継承し活用を図る									
	基本事業名	1 歴史資産の保護保存									
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	05	事業名	城館跡調査事業	根拠法令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H26 年度～ H30 年度)				
事業概要											
【全体概要】 那珂市城館跡調査事業を行い、地域の活性化と文化財を後世に継承する。						【業務内容】 茨城大学に委託し、那珂市城館跡調査事業を行う。					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)					
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)											
市内の城館跡数	市内の城館跡数	件	48.	48.	48.	48.	48.					
			0.	0.	0.	0.	0.					
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)											
市内の城館跡を踏査し、記録に残す。	調査した件数	件	12.	7.	10.	10.	9.					
			0.	0.	0.	0.	0.					
			0.	0.	0.	0.	0.					
			0.	0.	0.	0.	0.					
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)											
開発等で破壊される前に城館跡を調査・記録する。	記録として保存した数	件	12.	7.	10.	10.	9.					
	調査保存が完了した割合	%	25.	40.	60.	81.	100.					
			0.	0.	0.	0.	0.					
			0.	0.	0.	0.	0.					
(2)投入量の推移	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費					
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0					
	県支出金	千円	3,003	0	0	0	0					
	地方債	千円	0	0	0	0	0					
	その他	千円	0	0	0	0	0					
	事業費計(A)	千円	4,581	756	772	772	772	0				
人件費	正規職員	千円	2,017	618	0	0	0	0.34人	0.10人	0.00人	0.00人	0.00人
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	
	人件費計(B)	千円	2,017	618	0	0	0					
投入量(A)+(B)		千円	6,598	1,374	772	772	772					
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ	これまで開発されずに平地林となっていることから城館跡が保存されてきました。しかし、近年は開発がその地域にまで及びつつあるので、現況を調査する。											
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	住宅地と開発が進行する前にこれら城館の縄張り図を作成して往時の姿および一端を残していくこととした。											
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	貴重な歴史遺産を開発される前に調査・記録すべきとの声がある。											

(4) 前回(平成26年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み												
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) 調整区域も含めた市内の城館跡調査を実施。  (予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; text-align: center;">0</td><td style="width: 40px;">千円</td></tr><tr><td style="text-align: center;">(人件費)</td><td style="text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> <input type="checkbox"/> 増加(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; text-align: center;">0</td><td style="width: 40px;">千円</td></tr><tr><td style="text-align: center;">(人件費)</td><td style="text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	(人件費)	0	千円	0	千円	(人件費)	0	千円
0	千円											
(人件費)	0	千円										
0	千円											
(人件費)	0	千円										

### 2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市内の貴重な城館跡の調査は、公共が行う義務的業務である。 先人の残した文化遺産は貴重な財産であり、これを調査することは行政の責務でもある。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 他課が把握した開発情報も共有しながら調査を行う。
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はない。この事業を廃止することにより、調査記録される前に破壊されてしまう。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費、人件費とも最低限で実施しているため削減の余地がない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 文化財遺跡の地表調査であり、受益者負担を求める事業ではない。

### 3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善)																					
<input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																						
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)																						
計画どおりに調査が完了するように努めるとともに、開発情報も積極的に収集する。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )
<input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	
改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)	
残存する調整区域の城館跡については、調査方針を明確にした上で実施する。	

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合	<input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )
--	--

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合	<input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )
--	--

評価対象年度	平成27年度	<b>事務事業評価シート</b>			作成日	平成28年	6月	2日			
事務事業名	市史編さん事務費			事業類型	事業の推進						
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館	歴史民俗G	記入者氏名	木内 忠							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						□ 実施計画対象事業			
	施策名	5 貴重な歴史資産と伝統文化を継承し活用を図る									
	基本事業名	1 歴史資産の保護保存									
予算科目	一般会計	款 09	項 05	目 06	事業名 市史編さん事務費	根拠法令	那珂市市史編さん委員会及び 専門委員設置規則				
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)			□ 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)					
<b>事業概要</b>											
【全体概要】 戦後70年が経過し歴史的にも風化・散逸していく資料について、収集・調査をすることになり、本市の発展過程を歴史的に明らかにし、市民の郷土愛を高揚する。また、市の将来の発展に資することを目的に、那珂市史編さん委員会及び専門委員会を置く。				【業務内容】 貴重な遺跡等の文化財や、先人たちを広く市民に公開する。「那珂市ゆかりの先人たち」を刊行した。							
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
・全市民・市外訪問者(観光客)・郷土史研究者等・長い歴史の中で生まれ、伝えられた史・資料			那珂市の人口	人	55887.	55647.	55576.	55300.	55000.		
			考古及び史・資料	点	5300.	5300.	5300.	5300.	5300.		
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
市史編さん委員会を開催し、考古資料の解説や調査をしていく。			市史編さん委員会開催回数	回	6.	6.	6.	6.	6.		
					0.	0.	0.	0.	0.		
					0.	0.	0.	0.	0.		
					0.	0.	0.	0.	0.		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
市民に歴史的事実を明らかにし、歴史的記録を後世に記録し残す。			調査・解説できた考古・史・資料数	点	3400.	3450.	3450.	3500.	3500.		
			市史等頒布数	冊	221.	238.	240.	245.	250.		
			歴史資産伝統文化を大切に と思っている人の割合	%	94.63	94.43	95.	95.5	96.		
					0.	0.	0.	0.	0.		
(2)投入量の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費			
事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	280	0	200	52	52	0			
	事業費計(A)	千円	1,096	861	1,318	1,466	1,466	0			
人 件 費	正規職員	千円	1,170	528	0	0	0	0			
	正規外職員	千円	989	989	0	0	0	0			
	人件費計(B)	千円	2,159	1,517	0	0	0	0			
	投入量(A)+(B)	千円	3,535	2,378	1,518	1,518	1,518	0			
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ			那珂市内に存在する歴史的・文化的遺産を発掘し、先人の業績を学び発展に寄与するとともに、それらを後世に伝承するため。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			多くの市民の理解を得て、文化財保存への関心が高まっている。また、編さん事業の成果に基づいた生涯学習講座等においても希望者は増加している。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			・あまり目立たないが、時間のかかる貴重な事業であるため、粘り強く取り組んで欲しい。・事業の内容をさらによりわかるようにPRして欲しい。・那珂市の歴史をもっと簡単にまとめたものも欲しい。								

